

2011.07.04 原田作成

つくば市民白書 2012 実行委員会 第 1 2 回会合まとめ (案)

日時：2011 年 7 月 2 日(土)14:00-16:00

場所：市民活動センター

出席者：河村、緒方、亀山、野崎、原田、山本、寺門、矢澤、小川

議題：

(1) 報告 (経過、立ち上げシンポ)

(2) 協議

・白書構成

・編集委員会構成

(3) その他

(1) 報告

①経過報告

前回 11 回実行委員会 (5 月 7 日(土)) のあと、6 月 18 日 (土) につくば市民白書 2012 立ち上げシンポジウムを開催した。

②立ち上げシンポジウム報告

2011 年 6 月 18 日(土)つくば市市民活動センター会議室で 15 名の参加で 13:00-16:00 に開催した。収入は 4200 円 (300 円未収) であった。河村氏が「まとめ」に従って説明し、意見を出し合った。

まとめの主な内容：

白書作りは、白書の発行がゴールではなく、市民に読んでもらい改革に生かされることがゴールである。実行委員会は市民の意識を変える手助けになることを重視したい。

各論：

(市政と議会)

野口さんは現状の解析を行った上で自治基本条例と議会基本条例を中心に改革を提案した。これに対して、市が主導している自治基本条例づくりの動きに対して市民ネットなどの批判的な自主活動が紹介された。風車問題の進展をまとめる必要があることが指摘された。そのほか市原市政 4 年の総括、パブリックコメントの意見と回答の解析、公募型市民助成、公民館問題などのテーマが提起された。

(財政)

亀山さんの構成案をもとにする。TX 沿線開発はまちづくりで取り上げる。

(医療福祉)

横井さんの報告をもとにする。保育所をどこにするか教育と調整する。

(教育)

寺門さんは養護学校の解析と通常校を含めた教育全体の問題を提起した。

(まちづくり)

河村さんは町づくりの課題を 6 項目整理した。TX 沿線開発は酒井さん、高齢者は久富さん、地域格差を小川さん、地域コミュニティは筑穂の小野さん、地域防犯は稲荷前地区の人など候補が提案された。子育て、学校教育、医療福祉はそれぞれ医療福祉、教育の項にまわす。

(環境行政)

矢澤さんはつくば環境スタイルの項目を説明した。市民活動の停滞は行政の働きかけがないからではないか。市政の項のパブコメ、助成問題と関連する。

(産業と観光)

早川さんのシンポ原稿と、事例報告を組み合わせるとよい。

(科学技術と平和)

これは担当者未定で、報告もなかった。学研労協と相談する。

(2) 協議

①白書の構成

シンポ報告と意見交換に引き続き、白書の構成について協議を行った。立ち上げシンポ資料の構成案をもとに、各担当者が各項の内容を拡充する。担当はグループでもよい。執筆者は実行委員会で承認し、正式な執筆依頼を行う。

②編集体制

編集委員会は代表、事務局長、各担当で構成し、山本さんに再度編集委員長をお願いすることとなった。白書の内容に関して今後は編集委員会で扱う。原則として実行委員会開催時に編集委員会を開催する。次回は7がつ23日(土)。

③スケジュール

7月から編集作業が主な活動になる。次回実行委員会で執筆依頼状、書式など決める。第1次執筆者も決定する。

11～12月に中間検討会を開くこととし、10月から準備を始める。12月に最終的なページ数、印刷部数、価格、費用などの検討をはじめ、1月に頒布計画を作成する。2月に出版シンポジウムの準備を始める。3月に最終稿完成、印刷屋出稿、4月に完成、シンポジウム、頒布開始。

(3) その他

①風車問題公開質問状について

亀山さんより風車問題の訴訟に関して最高裁判決がひとつは下り、もうひとつは7月上旬にでるだろうとの報告があった。これらによりつくば市は行政的な対応を取らなければならないが、実際には行わない可能性が高く、その場合つくば市に対して公開質問状を出したいが、実行委員会も参加してほしいとの要請があった。協議の結果、今回は決定せず、必要に応じてメールなどで意見をとりまとめることにした。

(4) 次回第13回実行委員会

7月23日(土)14:00-17:00、つくば市、市民活動センターで開催する。

主な議題は、編集委員会からの執筆依頼状、執筆要項などの承認、執筆者の選定である。

(以上)